

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスもくれんジェニー2 (too)		公表日		2026年3月6日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	個室が少ない分、活動等でスペースを分けて対応しています		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	1	基本的にどの時間帯も、来所児童数に合わせた職員を配置するように努めています。	送迎の時間が重なり、活動場内の職員が手薄になる時間帯がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	活動場と職員の事務スペースが目で見分かりやすいように区切っています。また、事業所の入り口にスロープを設置するなど、バリアフリー化に努めています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	毎日朝・夕に2回、掃除の時間を作っています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	活動スペースとは別に個室があります。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0	定期的に職員全体で活動の振り返りを行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎年評価結果を職員全体で共有し、保護者の意向を把握できるようにしています。その結果を踏まえたうえで業務改善の話し合いの場を設けています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	毎日の7申し送りの際や、定期的な面談を通して職員の意見を把握するように努めています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	0	第三者委員会による外部評価を受けています。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	職員一人一人が年に2~3回ほど、外部の研修に参加する機会を設けています。また、定期的に法人内で研修を開催し、参加する機会を作っています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	作成したプログラムは、HPやSNS等で公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0	送迎時や面談で要望等を確認し、必要に応じ部署会議で改善等話し合っています。また、その内容を計画にも反映しています。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	事業所内で個別支援会議を行い、職員全体で支援について検討し共通意識をもって、計画を作成できるように努めています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	職員全体で共有し、共通意識の下で支援を行うようにしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	事業所で統一されたフォーマットを活用してアセスメントをしています。また、日々の活動を毎日の申し送りの中で共有する機会を設けています。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	保護者や相談支援専門員、学校・他機関との情報共有を行い、必要に応じた内容を計画に組み込んでいます。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	毎月のプログラムは、職員全員で考える機会を設けています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	活動プログラムが固定化されないように、こども会議を定期的に行い、職員だけでなく児童のアイディアも反映できるようにしています		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	集団活動については、もくれんジェニーとの合同でも取り組んでいます。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	毎日朝の申し送り時に、打合せを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	翌日に前日の振り返り、当日の申し送り等行っています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	家庭用・事業所に記録を取っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	課題がある際には、部署会議や、朝の申し送りの時間に話し合っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	9	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	日々のかかわりの中だけでなくこども会議を定期的に行い、こどもが自分たちで考えて決定する機会を作っています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	児童発達支援管理責任者だけでなく、日々支援に携わっている職員も参加できるようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0	担当者会議の際に、学校や関係機関も参加していただき、連携して支援を行う体制を整えています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	送迎時に確認等行っています。又、必要に応じて電話にて確認も行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	0	必要に応じて確認しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0	必要に応じて確認しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	研修に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	9	0	定期的に地域の学童と一緒にイベントを行っています。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0	東住吉区のこども部会や、自立支援協議会主催の事例検討会などに参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	帰りの送迎時や、連絡帳だけでなく、定期的な保護者面談や、必要な際には電話での相談を行い、共通理解を持てるようにしています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	相談があれば、助言できる体制を整えています。	家族参加型の研修会の開催等も検討しています。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時にお伝えしています。また、必要な際には、再度お伝えする機会を設けています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	送迎時や保護者面談の機会を使い色々な話をしています。又、携帯（line）や保護者連絡アプリも活用しています	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0	忙しい等対面での説明が難しい方には、電話等での説明も行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	事業所やご自宅での定期的な面談を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	9	0	保護者参加型のプログラムを開催し、保護者同士交流を持つことができる	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	法人内の報告書等に記載し、部署内に周知し、統一した対応をするように取り組んでいます	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	法人のHPや事業所のSNS・広報誌などで発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	部署の広報誌や、ブログ等への掲載についても、別途承諾書を取っています。又、都度の確認もしています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	保護者連絡アプリや携帯（LINE）等色々なツールを試しながら使い、個々の状況に合わせて使っています	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	0	地域住民参加型のイベントを開催しています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	定期的に計画にのっとった訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	事業所だけでなく法人全体で訓練の機会を作っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	年に一度児童票に情報を記入していただくことや、服薬が必要な方には投薬依頼書を提出していただいています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	保護者の方と密に情報を共有し、医師の指導の下対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	月に一回安全計画にのっとって、訓練を行っています。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	契約時や毎月のプログラム表に記載して周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	毎日の申し送りの際に、ヒヤリハットの共有及び、再発防止に向けた話し合いをする時間を設けています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	法人全体で研修の機会を提供しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0	必要な場合は、保護者と話したうえで、同意書をいただいでから実施しています。また、念に2回身体拘束適正化の会議を行っています。		